

# 日本百街道紀行

## 街道とまちづくり

第58回

## 北陸道

# 新たなまちづくりへ、政令市にいがた

新潟市長（新潟県）

中原八一



### はじめに

新潟市は、新潟県の北西部に位置し、古くから「みなとまち」として栄えてきた。明治22年に市制を施行して以降、近隣市町村との合併によって市域を広げ、平成19年4月1日には、人口約81万人の本州日本海側初の政令指定都市となっている。



夜の萬代橋と桜

北陸自動車道をはじめとした高速道路や上越新幹線により首都圏と直結するなど、陸上交通網が充実しているほか、国際空港、国際港湾が整備され、国内主要都市と海外とを結ぶ本州日本

海側最大の拠点都市として高次の都市機能を備えている。

一方、肥沃な越後平野に国内最大の水田面積を擁し、米のほか野菜、果物、畜産物、花卉類など、農畜産物の一大産地でもある。

また、日本海に面し、信濃川、阿賀野川の兩大河、福島潟、鳥屋野潟、ラムサール条約登録湿地である佐潟など、多くの水辺空間と里山などの自然に恵まれている。

### 今も残る北陸道

7世紀半ば、新潟市域に淳足柵が築かれると、そこが当時の政権の北限となった。

淳足柵とは、北方に暮らす蝦夷に備えた防衛施設であるとともに、都から遠く離れた地方を治める行政施設であったと考えられて

おり、古くから海岸沿いにその交通路が存在していたとみられる。

その後、律令時代に畿内と日本海中部を結ぶ官道として北陸道が



新潟湊之真景

整備されたと考えられている。

江戸時代には脇街道として整備され、かつて松尾芭蕉や吉田松陰も歩いたとされており、越後一の宮「彌彦神社」への参拝や、湯治場として栄えた「岩室温泉」などで、多くの来訪者が往来した。

本市の南西部に位置する西蒲区福井地区周辺では、家並みに街道筋の雰囲気



今も残る北陸道の面影(岩室温泉街)



にしかん観光周遊ぐる〜んバス



バス運行チラシ(2022年度版)

残り、良寛の歌碑「福井なる 矢垂の橋に きてみれば 雨は降れとも 日は照れ、とも」が建っているほか、「米百俵」の逸話で有名な三根山藩陣屋跡など、昔の風情が残っている。

なお、新潟市内や一部地域では、道路名(街道名)を「北国街道」や「北陸街道」などと呼ぶこともあるが、ここでは古い資料に残され、古くから呼ばれている「北陸道」を使用させていただく。

### 街道風情を生かした観光の取り組み

西蒲区では、開湯から300年を超える歴史ある岩室温泉街や酒蔵など、街道沿いの魅力的な観光地をはじめ、風光明媚な日本海の景色を楽しめる越後七浦シー

サイドライン、白い灯台が目印の角田浜やワイナリーのほか、パワースポットとしても名高い隣接する弥彦村の彌彦神社までを巡る「にしかん観光周遊ぐる〜んバス」を運行している。

大人は1人500円で1日乗り放題という利用しやすい料金設定と、ワイナリーでのワインの試飲無料をはじめ、入浴で平日無料券プレゼントなどの特典が豊富なことも相まって好評を博しており、地域の観光によるまちづくりに寄与している。令和5年度も4月29日〜10月29日までの土日祝日の運行を予定しており、温泉・自然・美食・お酒など、さまざまなコト消費が楽しめるため、ぜひお越しいただきたい。

### 「新潟市総合計画2030」の策定、さらなる発展への

本市は、令和12(2030)年を目指す都市の姿や、その実現に向けた政策・施策の方向性を、市民の皆さまと共有し、お互いに連携・協力しながら取り組んで

いけるよう、令和5年4月から「新潟市総合計画2030」をスタートする。

全国的な人口減少局面や、地球規模の気候変動、世界共通の目標であるSDGsの達成に向けた意識の高まりなど、本市を取り巻く状況を踏まえながら、恵まれた広域交通基盤や全国トップクラスの農業力、都市と田園が調和した暮らしやすさといった本市が持つ強

### 一口メモ

## 北陸道 日本海沿岸の要地を結ぶ 古代からの道「北陸道」



中山道の追分宿から分岐した街道は、高田に至り日本海にぶつかる。佐渡への渡航地の出雲崎、寺

みを生かし、人口減少時代に躍進する「活力あふれるまちづくり」「持続可能なまちづくり」を進め、本市が目指す都市像「田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市」の実現に向けて力強く歩み出していく。

これからの10年先、20年先を見据えたまちづくりによって、市民の皆さまと一緒に、明るい未来を切り開いていきたい。

泊を経て、彌彦神社門前の宿場町弥彦、江戸時代から湯治場としてにぎわった岩室温泉を過ぎ、北陸道は「日本一の川湊」とうたわれた海運の拠点、新潟へ。

新潟は、信濃川、阿賀野川など大小の河川によって形成された、広大な越後平野の中核に当たり、かつて江戸の商人も参入したという新田開発により日本屈指の米どころとなった。

企画協力…全国街道交流会議「街道交流首長会」